

Mitsui Fudosan

三井不動産 Story

水の音が近くにあると、
ひとの顔ってやわらかくなるんだな。

柏の葉という街は、未来への提案だと思う。

スマートシティという機能だけではなく、

そこに暮らすひとの表情をどうつくっていくか。

休日を象徴するような風景をつくれなにか。

そうやって街はたくさんさんのメッセージを持ち始める。

柏の葉アクアテラスは、もともとはただの調整池だった。

行政との連携、商業施設の誘致、近隣との対話。

そこを親水空間にするために

たくさんさんの情熱が動いた。

できあがると自然とそこに鳥が集まった。

噴水の音がひとの顔をやわらかくした。

水はこんなにも優しいものなのか。

あらためて思った。

この場所の管理は、近くのNPOの方々が行なっている。

周囲のゴミを拾ったり、

日々の様子をレポートしたり、

水位があがるとゲートをしめたり、

親子がもっと楽しむためのアイデアをだしたり。

20人シフトで365日休むことなく。

雨の日にゲートをしめにきた男性を見かけた。

まるで孫のために庭を整える祖父のように見えた。

ひとつの施設が、自然にひとの手で守られていく。

そうやってはじめて施設は育っていくものかもしれない。

この新しい街は、

街が街であるために必要なものをいつも教えてくれる。

いい街には、物語がある。

